

第4回 1月京大本番レベル模試

採点基準 英語

全体の基準

- *原則として次の基準に従うものとする。各問ごとの追加基準がある場合はそちらが優先される。
- ・原則として減点方式により採点する。
- ・各小問は、全体をいくつかの部分に分けて点数を分配する。
- ・部分ごとに、解答が明らかに未完である場合、その部分については点数を与えない。
- ・誤字・脱字・スペルミスは、1語につき**マイナス1点**

英文和訳 (大問Ⅰ・Ⅱ) の基準

- *以下の項目に関して、1点から3点の幅で減点する。
- ・単語の誤訳や文脈上不自然な訳は、1つにつき**マイナス1点**を原則とする。但し、意味・構文上大きな誤りは**マイナス2点**とする。訳漏れの場合は単語の種類によって次を原則とする。即ち、**修飾語**は欠如しても意味・構文に影響が少ない場合、**マイナス1点**。**内容語**と**機能語**は欠如すると意味・構文に影響するので、原則**マイナス2点**とする。

単語の種類	誤訳	欠如
修飾語 (限定形容詞・副詞・冠詞・助動詞)	-1	-1
内容語 (名詞・代名詞・動詞・叙述形容詞)	-1	-2
機能語 (従属接続詞・前置詞)	-1	-2

- ・イディオム・文法・語法・構文の知識不足による誤訳は、単語の誤訳に倣う。文脈の把握ミスによる致命的な誤訳は、1つにつき**マイナス3点**を原則とする。但し、与えられた配点を超えた減点はしない。

英作文問題 (大問Ⅱ(4), Ⅲ) の基準

- *部分ごとに基準がない場合、以下の項目に関して、1点から3点の幅で減点する。
- ・単語の誤訳・訳漏れは、上記和訳問題に同じ。
- ・イディオム・文法・語法・構文の知識不足による誤訳及び適切性を欠く訳は上記和訳問題に準ずる。また、**SVO**の語順、従属接続詞や前置詞の後置など致命的な構文上の誤りは、1つにつき、**マイナス3点**を原則とする。

配点表

大問	小問等	内訳	小問得点	大問得点
I	(1)	選択空所補充	12	50
	(2)	下線部和訳	18	
	(3)	下線部和訳	20	
II	(1)	下線部和訳	21	75
	(2)	下線部和訳	9	
	(3)	下線部和訳	20	
	(4)	自由英作文	25	
III	-	和文英訳	25	25
合計			150	

大問 I

【基準・配点】

次の要素に以下の点を配す。以下に言及のない誤訳・ミスは1つマイナス1~2点を原則とする。

(1) 12点満点 選択式空所補充問題

(2) 18点満点

区分		配点
①	One of his many inventions is the Pythagorean cup, also known as the greedy cup— 「数多くの発明品の1つに欲張りのカップとしても知られるピタゴラスのカップがある。」	4
②	a clever and entertaining vessel designed to hold an optimal amount of wine, 「これは、最も適量のワインを入れておけるように設計された巧妙にして面白い容器で、」	4
③	forcing people to imbibe only in moderation— 「人は節度をもって飲むしかなくなる。」	2
④	a virtue regarded highly by ancient Greeks. 「古代ギリシャ人に尊ばれた美德である」	2
⑤	If the user was too greedy and poured wine over the designated threshold, the cup would spill its entire contents. 「使う人が欲張りすぎて指定された限界値を超えてワインを注ぐと、カップから中身が全部こぼれ落ちた。」	6

(3) 20点満点

区分		配点
①	When the liquid level rises such that it fills the U-shaped chamber, the liquid will start to fall due to gravity. 「液面が押し込み U 字型の空洞を満たすと、液体は重力により落ち始める。」	6
②	As gravity pulls the water column down the pipe of the Pythagorean cup, the lower pressure thus created on the other end causes the liquid to be overpowered, 「重力に引っ張られて水柱がピタゴラスのカップのパイプを下ると、そのためもう一方の端で生じる圧力低下が原因となって液体が圧迫され、」	8
③	subsequently allowing itself to be “dragged” along, stopping only when the liquid level either falls below the intake or the outlet. 「次いで液体はざるざる「引きずられる」ままとなり、液面が吸入口か排出口のどちらかより下になってようやく止まる。」	6

大問II

【基準・配点】

次の要素に以下の点を配す。以下に言及のない誤訳・ミスは1つマイナス1~2点を原則とする。

(1) 21点満点

区分		配点
①	The effect was found to be more effective for advertising products than it was for advertising on social issues such as human rights issues or environmental activism. 「この効果は、人権問題や環境運動といった社会問題について宣伝する場合より、商品の宣伝をする場合の方が効果的であることが分かった。」	10
②	This is possibly because people tend to have strong opinions on social issues and are less likely to be persuaded to change their opinion by a slogan. 「これは、社会問題に対して強固な意見を持つ傾向が人間にあり、スローガンに納得して自分の意見を変える可能性が低くなるからかもしれない。」	11

(2) 9点満点

区分		配点
①	However, because this happens subconsciously, 「しかし、これは潜在意識のもとで起こるために、」	3
②	we have a tendency to confuse the ease with which we understand a statement with its accuracy. 「文言の理解しやすさとその的確さを混同する傾向がある。」	6

(3) 20点満点

区分		配点
①	Most of us seem to work on the assumption that the more something is repeated, the more likely it is to be true. 「私たちの大半は、何かを繰り返されればされるほど、それが真実である可能性が高くなると思いついて行動しているようである。」	8
②	Possibly because, all other things being equal, speakers generally try to be informative and helpful, and true statements are more likely to be repeated than are false ones. 「これは、他の条件がすべて同じならば、一般に話し手は有益な情報を伝えて役に立とうと努めるので、真実の文言の方が虚偽の文言より繰り返される可能性が高いからかもしれない。」	12

(4) 25点満点

【基準・減点】

以下に言及のないミスは全体的基準に従う。

1. 形式面

- ・明らかに解答欄の下線を見越した回答は、採点対象にしない。
- ・制限語数を満たさないものは、採点対象にしない。
- ・間にピリオドがあっても、2文以上のものは、採点対象にしない。

2. 語数・英語の正しさ

3. 文法面

- ・文法・語法ミスは各マイナス1点。

a. 語数・段落数

ミスの種類		減点数
①	語数制限を超えている	採点対象としない
②	指示（各下線の上に単語1語を記入する）を守らず、複数の単語を入れている	-2

b. 内容面

ミスの種類		減点数
①	本文中の具体的方法(例えば韻を取り去って意味を維持し言語表現の妥当性を判断する)や「元の情報を自分の言葉で言い換え、その内容を判断すること」を挙げた場合、得点を与えない。	得点を与えない
②	論理に飛躍がある	-10
③	課題と全く関係ない内容が書いてある答案	採点対象としない

大問Ⅲ (25点)

- 語句レベルで不適切な箇所は、程度に応じて1カ所につき1～2点。

区分		配点
①	健全なる精神は健全なる肉体に宿るといが、	4
②	私の経験から言えば、この考えには手放して賛成だ。	4
③	どんなに疲れていても一日の終わりはジョギングで締めくくりにしているが、	5
④	ひとつ走りして帰宅する頃には、その日の嫌なことも汗と共に身体から抜け出ていくのを実感する。	7
⑤	おかげで、『今日も一日頑張ろう』と決意も新たに翌朝を迎えることができる。	5